

はつらつ

No.118

須賀地区高野
及川雅貴さん(15歳)



目指すは世界一の“完璧”な投手

15歳以下の野球世界一を決める「第3回WBSU-15ベースボールワールドカップ2016」に日本代表として参加。“日の丸”の付いたユニフォームに袖を通したときは、改めてその責任感を感じました。

パワーの差を実感しながらも「全員野球」で勝ち進み、決勝はキューバ代表との一戦。惜しくも敗れてしまい、準優勝の結果には素直にうれしいですが、敗れた悔しさに加えて、最高の仲間ともう戦えない寂しさの両方があります。個人では、投手の最優秀賞「最優秀防御率賞」を獲得。大会前、国旗に選手各自の抱負を寄せ書きし、僕は「世界一の投手」と書いたのですが、これを実現できたかなと思います。

目指す選手像は、制球力、スピード、変化球の切れ、全てが備わった完璧な投手。夢にプロ野球選手を見据え、次に目指すステージは甲子園での活躍や18歳以下の日本代表。野球が復活する4年後の東京オリンピックにも参加できたらうれしいです。

遊々趣味入 私のイッピン

No.17

椿海地区椿
鈴木光江さん(60歳)



素材の魅力を 引き出す“押し花”

額で仕切られた空間に、配色やバランスを考え立体的に表現。材料採取から乾燥、その後はピンセットを使いながら作図します。「隠れている素材の魅力をいかに引き出せるか」。試行錯誤の連続ですが、月に一度集まるサークルメンバーと、作品完成まで集中力を切らさず、達成感を含めて楽しんでいきます。

アイドル 登場 No.221

越川凌太郎くん0歳
巧太郎くん0歳

両親＝将幸さん・樹里さん(堀川)



いつも一緒！
2人でおしゃべりが楽しいね！

アイドル募集中! お子さんの写真に、氏名・生年月日・両親氏名・住所・電話番号・コメントを添え、郵送、持参またはメールでご応募ください。

みんな みて!みて!! アートギャラリー



折り紙や紙を使って、にぎやかな秋を想像して作ったよ。カラフルな洋服を着たクリがかわいらしくできたよ。

八日市場保育所
越川遥真くん



保育園のお友達と遠足でディズニーランドへ行ったときの絵を描いたよ。ミニちゃんのリボンがかわいいでしょ。

須賀保育園
川島凛ちゃん



写真を基にした水墨画です。神社や花の影に気を使い、墨の濃淡で立体感を出せるように描き分けるのが大変でした。

野田小6年
畔蒜咲弥さん



クラブ・サークル紹介

私たちは「いつまでも健康でいたい」と願う高齢者の集まりで、自主的に教室を開催しています。

内容は、手足の指の運動から軽く息が弾む程度まで、県下でも実績のある有名な2人の女性トレーナーから、親切・丁寧でツボを押さえた指導を受けています。中でも、“触覚ボール”を使った体操は、普段動かしていない部所や筋肉などをもみほぐし、「とても気持ちがいい」「肩や背中、腰が軽くなった」と人気を博しています。家庭での復習にも取り組み、次回につなげるよう心掛けています。

さあ！健康で楽しい人生を歩もうとする皆さん！レッツ健康教室に入門しませんか。（代表・勝又）



Profile プロフィール

- ①設立 平成20年
- ②年齢層 60歳代～80歳代
- ③活動日時 原則、毎月第3金曜日
10時～11時30分
- ④活動場所 のさかアリーナ
- ⑤問い合わせ先 代表・勝又康之
☎67-5629

“そうさっ子”大活躍 小学生陸上交流大会 千葉県選考会

八日市場小・白土さんは全国3位に

第32回全国小学生陸上競技交流大会千葉県選考会が7月10日、県総合スポーツセンター（千葉市）で開催され、本市の子どもたちが活躍を見せました。

クラブ所属で出場の八日市場小6年・白土莉紅さんが、女子走り幅跳びで4m69を記録し優勝しました。また、豊和小6年の林真鈴さんは、女子ジャベリックボール投げで41m77の好投で2位に輝くなど、本市児童が全9種目で入賞を果たしました。

全国大会で「銅」メダル獲得

白土さんは、続く8月20日に日産スタジアム（神奈川県横浜市）で行われた全国大会に出場。第5跳躍までは4位に付け、気合を入れ直して挑んだ最終跳躍で逆転の4m69をマークし、3位に輝きました。白土さんは「嬉しさと悔しさが半分ずつ。次は優勝を目指したい」と話しました。



全国大会で3位に輝いた白土さん

平和を願い千羽鶴を捧げる



「平和の像」に千羽鶴を捧げるセレモニーが、8月1日に開催されました（＝写真）。

過去最多10万1千羽寄せられる

市内の各学校や福祉施設を始め、市民の皆さんから寄せられた折り鶴は、過去最多の10万1千羽に達し、セレモニーに参列した市内各種団体代表や市内3中学校の代表生徒の手により献鶴されました。続いて、中学生による平和都市宣言の朗読が行われた後、八日市場第一中3年の山崎愛理さんが「平和を作ること諦めてはいけません。二度と同じ過ちを繰り返さないよう、私たちに出来ることを考えましょう」と作文を読み上げ、恒久平和を呼び掛けました。